

令和5年度 市民意見交換会（総務生活常任委員会）

《令和6年1月18日（木）》

意見交換の相手団体：たつの市国際交流協会

意見交換会のテーマ：多文化共生と多文化理解について

主な意見（一部抜粋）

・子どもたちが学校で配られたプリントや宿題を持ってくるので読むが、子供たちはどういう意味が分からない。

・日本語が分からないので、友達もなかなかできないようである。



・親も学校の宿題や本を読みなさい、プリントをしなさいと言っても、分からないところがあり、なかなか成績が伸びない状況である。

・新宮に小中一貫の学校ができるので、国際化に関して新しいことを考えてもらいたい。

・外国籍の子供だけのクラスで、国語などの特別なところだけ日本語の先生で授業できないのかと思う。

・外国から来た子供は1年か2年サポーターが付くが、それ以降はつかないので子供たちも大変である。

・学校から出されるお知らせも理解できていない。

・土曜日クラスに、毎週親が送迎し、そこでフォローするが、週に1回1時間半なので限界がある。

・日本語が理解できれば、日本の子供たちと一緒に成長する。日本語に触れることが少ないから、日本語をしゃべる場があればいい。

・現場で指導していたら、学校の先生の授業の言葉が分かってないことが分かる。

・子供たちに勉強してもらい、高校や専門学校、大学に行って、いい仕事をしてもらいたい。そうなれば、地域の生産性も上がり、地域の力が強くなる。

- ボランティアの人数もぎりぎり、土曜日は仕事の方もいて、仕事が休みの日に行ける方を調整したりしている。

- 多くの人に知っていただくためWAOやキッズインターナショナルはチラシを作って学校に配っている。インスタやフェイスブックにも掲載し、WAO!はK i s s - F Mでも流している。